



## 取り付けていますか？ 住宅用火災警報器

全ての**寝室**と**階段**（2階に寝室がある場合）に必要です。  
正しい**場所**に設置されているか確認してください。

組んでいます。  
11月から平成31年3月まで、80歳以上のひとり暮らし宅を訪問し、火災を起こさないよう、防火診断を実施します。防火診断では、ガスコンロなどの火を使う器具の誤った取り扱いをしないか、住宅用火災警報器の設置がされているかなどを確認します。



## 住宅防火診断を行います

高齢化の進展とともに、住宅火災による死者のうち、高齢者の占める割合が増加しています。有田川町消防本部では、住宅火災から大切な命を守るため、住宅用火災警報器の設置・維持管理などの住宅防火に取り組んでいます。

# 消防だより

## 今年の出動など(累計)

有田川町消防本部 ☎52・5950  
吉備金屋消防署 ☎52・5950  
清水消防署 ☎25・1243  
病院紹介(和歌山県救急医療情報センター) ☎073・426・1199

火災……………9件  
救急……………94件  
救助……………11件  
(平成30年8月31日現在)

## 救急搬送件数

平成30年上半年期（1月1日～6月30日）の救急出動件数は、676件でした。昨年、同期間の出動件数は

救急出動件数（平成30年1月～6月）

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	合計
急病	75	79	65	56	61	81	417
一般負傷	17	20	17	22	21	18	115
交通事故	8	15	8	9	12	16	68
転院搬送	7	7	7	8	5	9	43
その他	8	6	5	7	2	5	33
合計	115	127	102	102	101	129	676

661件、比較すると15件増加しています。

種別は、急病が417件で最も多く、次いで一般負傷（転倒した、指を切ったなど）、交通事故の順となっています。今年は昨年より気温が高く、有田川町内でも熱中症と思われる急病人が多く発生しました。

昨年の下半期は、12月に救急搬送が多く、気温の低下による急病人、また路面凍結による交通事故や転倒が見受けられました。本年も昨年同様、12月に搬送件数の増加が予測されます。寒暖差による体調不良や、凍結している道路には十分ご注意ください。

## 寒い時期に多発！

### 高齢者の入浴中の事故に注意

涼しく、過ごしやすい季節になってきました。  
寒くなるにつれて多くなってくるのが、入浴中の事故です。入浴は、体を清潔に保つだけでなく、リラックサ効果も期待できます。しかし間違った入浴は、体に大きな負担を与え、意識障害を起こして溺水するなど、重大な事故につながる危険性があります。家庭の浴槽での溺死者数

の約9割は、65歳以上の高齢者です。

入浴時の急激な血圧の変化や、発汗による脱水症状の進行は、心筋梗塞や脳梗塞、脳出血などのリスクを高めます。

## 入浴時の対策・注意点

- ・入浴前に脱衣所や浴室を暖める。
- ・湯温は41度以下、湯につかる時間は10分までに。
- ・浴槽から急に立ち上がらない。
- ・食後すぐや飲酒した状態での入浴は控える。
- ・入浴前には、家族に一声かける。

## 浴槽でぐったりした人を発見した場合の対処法

- ・入浴者を浴槽から出す。
- ・出せない場合は、浴槽の栓を抜き、顔が湯につからないようにする。
- ・直ちに救急車を要請し、必要であれば心肺蘇生を行う。

